

地域の伝統を守り次世代に伝える、 出会いが生んだ小水力発電所

宮崎県西臼杵郡日之影町(大人発電農業協同組合)

【経緯】

- ・明治から農業用水路を維持(世界農業遺産)
- ・高齢化で維持が困難に
- ・再エネで町おこしを検討

【取組】

- ・発電農協を組織したことで事業性を向上、金融機関からの信用を獲得
- ・地域新電力への電気供給でエネルギーを地産地消

【効果】

- ・売電収益で農業用水路や地域の伝統芸能を維持
- ・電気の地産地消で家庭電気料金5千円/年削減
- ・交流人口の増加

事業スキーム

発電事業者 大人(おおひと)発電農業協同組合



100年以上の耐久性をもつ地域の石を発電所の建屋に使用。防音・防湿・防振に優れ、景観にもマッチ。

大日止(おおひと)昇小水力発電所

集落で「過去」から「未来」に渡る課題を話し合い、地域の資源を活用した再エネ事業を検討

先進地域からの助言により発電農業協同組合(※)を組織
※発電事業を主体とした専門農協

融資

金融機関

日本政策金融公庫、宮崎銀行

返済

再エネ先進地域

別府電化発電農業協同組合

- ・事業や資金確保に関する知見を提供
- ・経験を活かし地域の合意形成に協力

助言

地域サポート事業者

株式会社 リバー・ヴィレッジ

- ・可能性調査、発電設備設計等を担当
- ・低コスト発電設備の導入を実現

調査設計

地域新電力会社

株式会社 新出光

- ・パートナーシップ契約を締結
- ・売電を契機に地域内外の交流を促進

売電

売電収入

寄付

地域文化 大人歌舞伎保存会



大人農村歌舞伎

九州唯一の農村歌舞伎(※)の維持(1995年宮崎県無形民俗文化財)

※江戸期に興った地元住民による郷土芸能

使用料

農業用水

農業者 大人用水組合



- ・歴史ある農業用水路の維持管理
- ・作業道の舗装

✓ 発電農協の事業性、100年に渡る取水データ等を金融機関が評価、融資につながった

✓ 売電収益を農業用水路や地域の伝統芸能である農村歌舞伎の維持等に活用し、地域の遺産を次世代に

✓ 発電電気を地域新電力である新出光に供給し、電気の地産地消を実現。各家庭の電気料金も5千円/年程度削減の見込み。

今後の展開

- 食とエネルギーを通じて、農山漁村と都市の繋がりの場の構築を実現したい
- 再エネを活用して高齢者が活力をもつ事業に取り組みたい

【日之影町の概要】

人口：3,744人(平成30年12月末現在)
基幹産業：農業 特産品：栗きんとん、猪うどん等



【発電所(大日止昇小水力発電所)の概要】

所在地：宮崎県西臼杵郡日之影町大字岩井川
発電出力：49.9kW(発電量：32万kWh/年)
水車形式：クロスフロー水車(運転開始：2017年11月)



日之影町位置



特産の栗きんとん



2030年に向けて
世界が取り組む
「持続可能な開発目標」です



お問い合わせ先：日之影町役場地域振興課 宮崎県西臼杵郡日之影町大字岩井川3398-1 TEL0982-87-3910